

## 第9学年 道徳科 指導案

1 主題名 『いじめを許さない心』 【内容項目：C－(11) 公正、公平、社会正義】

2 教材名 「卒業文集最後の二行」 (著者：一戸冬彦・出版社：潮文社)

### 3 ねらいとする道徳価値について

公正、公平を重んじるには、事実をゆがめないよう努めて生きることが必要である。人は、時に自己中心的な考え方や偏った見方をしてしまい、他者に対して不公平な態度をとる場合があり、これが差別や偏見を生んで、生きにくい社会となる。中学 9 年生は、善悪を判断する能力は身につけており、理想を求める思いも強い。しかし、集団内に入ると内心では不適切だと思っても、一歩踏み込んでたしなめることをためらう傾向がある。よりよい社会にしたいという願いは、よりよく生きたいという願いの延長線上にある。一人ひとりが尊重され、差別や偏見を排し、断固とした姿勢で積極的によりよい社会をつくる努力をすることが大切である。

### 4 ねらい

いじめがいかにかに非情であるかを理解し、差別や偏見を人間としてぜったいに許さない態度を育てる。

### 5 本時の流れ

\* 以下は、おおまかな流れを示したものである。第9学年では、毎時間の授業で、この流れを参考にしつつ、各担任が学級の実態に応じて、発問の仕方や数を工夫したり、グループ活動を取り入れたりしながら、授業を展開している。

	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導 入	○学校での生活の楽しさについて考える。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <b>発問</b>学校生活でどんなときに楽しいと感じるか。         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と話しているとき。</li> <li>・好きなことをしているとき。</li> </ul>	●学校生活の楽しさについて発表し合う。楽しさも一瞬に消え去るいじめの悲惨さを意識させる布石とする。

展開	<p>○教材「卒業文集最後の二行」を読み、考える。</p>	<p><b>発問①【問題をつかもう】</b> 「私」は、T子さんに対してとった行動をいまだに悔いている。「私」のどんなことが問題だったのだろう。問題だと考える場面を挙げてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貧しさや見た目で差別。許されない問題。</li> <li>・いじめるとおもしろいと思いいじめた。やってはならないことをやってしまった問題。</li> </ul> <p><b>発問②【自分で考えてみよう】</b> 発問①で挙げた場面について、問題だと考えた理由をまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貧しさは親の問題でT子さんには関係ない。その点をいじめるのは卑怯だから。</li> <li>・おもしろ半分にいじめた点は人間として許されない。</li> </ul> <p><b>発問③【問題について考え、議論しよう】</b> いじめという問題を乗り越えるためには、どんな考え方が大切だろう。なぜこのような問題が起きてしまうのかも含めて、グループで話し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめは、人間の弱さからどこでも起きるものだ。起きたときにどう行動するかが大切だ。</li> <li>・仲間とも話し合い、集団として向き合うことが必要。</li> <li>・人として、理不尽ないじめにはいつでも立ち向かう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「私」の言動の裏にある差別や偏見をしっかりと見つめさせ、自分たちにも起こり得る問題として、当事者意識をもって考えさせる。</li> <li>●いじめの原因は、嫉妬や見下しなど理不尽なものである。公正、公平でない理不尽さを人間として許さない理由をしっかりと考えさせたい。</li> <li>●自分事としていじめをけっして許さず、人として、集団としてよい行動をしたいという態度に結びつくような話し合いを促す。教師がグループに入り、一緒に議論してもよい。</li> <li>●公正でないことをしてしまった弱さ、情けなさといった「私」の人間性に共感させながら、「私」のペルソナ（仮面）を借り、自分自身を振り返って表現させる。</li> </ul>
まとめ	<p>○今日の学習を振り返って考える。</p>	<p><b>発問</b>自分に+1 「私」のこれまでの生き方を踏まえて、これからの自分の生き方について考えてみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人間の弱さを自分自身のこととして認識し、問題に正対して乗り越えていく強い心が求められることに気づかせたい。</li> </ul>

## 6 評価

いじめが差別的で人間として許されないものであり、加害者が相手の痛みに対し無頓着かつ傲慢なことに気づくような発言や記述があったか。